

平成 21 年度学会発表・講演等一覧

[企画部]

- ◇第 38 回国土地理院報告会 平成 21 年 6 月 3 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
 - ・基本測量に関する長期計画及び国土地理院研究開発基本計画について：下山泰志
 - ・国土地理院の災害対応について：秋山一弥
 - ・基盤地図情報の整備・更新・提供のあり方について：田中宏明
- ◇日本国際地図学会平成 21 年度定期大会 平成 21 年 8 月 19 日～20 日 立正大学 (東京都品川区)
 - ・地理空間情報の活用推進に関する実態調査：門脇利広・南雲吉久・佐藤剛・大木章一

[測地部]

- ◇The 8th International e-VLBI Workshop (第 8 回国際 e-VLBI ワークショップ) 平成 21 年 6 月 22 日～25 日 スペイン国マドリッド
 - ・The History of e-VLBI Activities for GSI VLBI Stations (e-VLBI の歴史と国土地理院 VLBI の活動)：小門研亮・福崎順洋・松坂茂・町田守人・重松宏実 (北陸地方測量部)・高島和宏 (地理地殻活動研究センター)
- ◇京都大学防災研究所拠点形成研究集会 平成 21 年 9 月 8 日 京都大学宇治キャンパス (京都府宇治市)
 - ・山形月山地区における SAR 干渉画像を用いた地すべり性地表変動の検出：鈴木啓・佐藤浩 (地理地殻活動研究センター)・雨貝知美・関口辰夫 (地理調査部)・小荒井衛 (地理地殻活動研究センター)・齋藤克浩 (東北地方整備局)・鈴木邦章 (東北地方整備局)
- ◇第 29 回極域地学シンポジウム 平成 21 年 10 月 8 日～9 日 総務省自治大学校講堂 (東京都立川市)
 - ・GPS 連続観測点による露岩域変動測量：高畑嘉之・白井宏樹 (企画部)
- ◇岩盤工学研究会講演会 平成 21 年 10 月 21 日 航空会館 (東京都港区)
 - ・干渉合成開口レーダーを用いた地殻変動の検出：雨貝知美
- ◇日本地震学会 2009 年秋季大会 平成 21 年 10 月 21 日～23 日 京都大学吉田キャンパス (京都府京都市)
 - ・明治 24 年 (1891 年) 濃尾地震に伴う地殻変動と震源断層モデル：高野和友・木股文昭 (名古屋大学)
- ◇日本測地学会第 112 回講演会 平成 21 年 11 月 4 日～6 日 産業技術総合研究所 (茨城県つくば市)
 - ・地殻変動パラメータの作成について：檜山洋平・山尾裕美・森下遊
 - ・重力点の経緯度と標高の高精度化：本田昌樹・菅原安宏・植田勲・日下正明・石原操
 - ・地盤沈下監視への干渉 SAR の利用：森下遊
 - ・干渉 SAR を用いた氷床変動の検出：雨貝知美・藤原智 (企画部)・鈴木啓・森下遊
 - ・始良における VLBI-GPS ローカルタイについて：三浦優司・栗原忍・松坂茂・重松宏実 (北陸地方測量部)・小谷京湖 (企画部)・吉田賢司 (測地観測センター)・高島和宏 (地理地殻活動研究センター)
 - ・小型アンテナ同士の基線に於ける新しい VLBI 基線測位法の検証 その 2：石井敦利 (エイ・イー・エス)・市川隆一 (情報通信研究機構)・瀧口博士 (情報通信研究機構)・小山泰弘 (情報通信研究機構)・栗原忍
 - ・アジア太平洋地域の地殻変動監視事業：町田守人・松坂茂・唐沢正夫・今給黎哲郎 (地理地殻活動研究センター)・村上克明 (中国地方測量部)
 - ・Ultra-rapid 実験による VLBI 解の迅速算出：谷本大輔 (エイ・イー・エス)・農澤健太郎 (エイ・イー・)

- エス)・向井泰子 (エイ・イー・エス)・栗原忍・小門研亮
- ・1m 級アンテナを用いた基線場検定用 VLBI システム (MARBLE) の開発状況 その 3: 石井敦利 (エイ・イー・エス)・市川隆一 (情報通信研究機構)・岳藤一宏 (情報通信研究機構)・小山泰弘 (情報通信研究機構)・栗原忍・高野和友・福崎順洋・三浦優司・谷本大輔 (エイ・イー・エス)
 - ・基準点測量で捉えられた硫黄島の地殻変動: 田上節雄・高島和宏 (地理地殻活動研究センター)・栗原忍・三浦優司・石原操
- ◇東京大学地震研究所共同利用研究集会 平成 21 年 12 月 3 日 東京大学地震研究所 (東京都文京区)
- ・重力基準網の構築: 本田昌樹・菅原安宏・植田勲・日下正明・石原操
- ◇2009 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 21 年 12 月 3 日~5 日 奥州宇宙遊学館 (岩手県奥州市)
- ・国土地理院機関報告: 栗原忍・福崎順洋・松坂茂・三浦優司
 - ・1m 級アンテナを用いた基線場検定用 VLBI システム (MARBLE) の開発状況: 石井敦利 (エイ・イー・エス)・市川隆一 (情報通信研究機構)・岳藤一宏 (情報通信研究機構)・小山泰弘 (情報通信研究機構)・栗原忍・高野和友・福崎順洋・三浦優司・谷本大輔 (エイ・イー・エス)
 - ・南極昭和基地におけるコロケーション: 田上節雄・高島和宏 (地理地殻活動研究センター)・栗原忍・三浦優司・石原操
- ◇第 6 回国際 VLBI 事業総会 平成 22 年 2 月 7 日~10 日 オーストラリア国ホバート市
- ・Ultra Rapid dUT1 Experiments on Japan-Fennoscandian Baselines -Application to 24-Hour Session- (日本-フェノスカンディア基線での超高速 DUT1 実験-24 時間観測への応用-): 松坂茂・栗原忍・関戸衛 (情報通信研究機構)・Thomas Hobiger (情報通信研究機構)・Haas Rudiger (カルマース工科大学オンサラ宇宙観測所)・Ritakari Jouko (ヘルシンキ工科大学メッサホビ電波観測所)・Wagner Jan (ヘルシンキ工科大学メッサホビ電波観測所)
 - ・Development of a Compact VLBI System to Provide Precise 10km Baseline Measurement and to Monitor Deformation of VLBI2010 Antenna Session: 1 Realization and New Perspectives of VLBI2010 (10km 基線計測および VLBI2010 仕様アンテナの変形監視を目的とする小型 VLBI システムの開発: VLBI2010 計画の実現例と新たな方向性): 石井敦利 (エイ・イー・エス)・市川隆一 (情報通信研究機構)・瀧口博士 (情報通信研究機構)・岳藤一宏 (情報通信研究機構)・氏原秀樹 (情報通信研究機構)・小山泰弘 (情報通信研究機構)・近藤哲朗 (情報通信研究機構)・栗原忍・三浦優司・松坂茂・谷本大輔 (エイ・イー・エス)
- ◇平成 21 年度 Conductivity Anomaly 研究会 平成 22 年 2 月 16 日 東京大学地震研究所 (東京都文京区)
- ・地磁気時空間モデルを使った 2010.0 年磁気図作成: 石倉信広・田上節雄・嗟峨論・石原操
- ◇第 9 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 22 年 3 月 2 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター (茨城県鹿嶋市)
- ・Ultra-rapid 実験による VLBI 解の迅速算出: 小門研亮
- ◇ALOS-2/3 ワークショップ 平成 22 年 3 月 25 日~26 日 秋葉原コンベンションセンター (東京都千代田区)
- ・ALOS/PALSAR を用いた地盤沈下・地すべり監視-ALOS-2 への期待-: 鈴木啓・雨貝知美・森下遊・佐藤浩 (地理地殻活動研究センター)
- ◇日本地球惑星科学連合 2009 年大会 平成 21 年 5 月 16 日~5 月 21 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- ・セミ・ダイナミック補正の導入に向けた取組について: 檜山洋平・森下遊

- ・つくばにおける VLBI-GPS ローカルタイと ITRF2008 への寄与：栗原忍・重松宏実（北陸地方測量部）・小谷京湖（企画部）・吉田賢司（測地観測センター）・高島和宏（地理地殻活動研究センター）
- ・SAR 干渉解析を用いた地盤沈下の監視：藤原みどり（近畿地方測量部）・雨貝知美・鈴木啓・和田弘人

[測図部]

- ◇第 38 回国土地理院報告会 平成 21 年 6 月 3 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
電子国土基本図の整備と活用：山後公二
- ◇日本写真測量学会平成 21 年度年次学術講演会 平成 21 年 6 月 18 日～19 日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
・ALOS/PRISM による遠隔地シーン標定手法の検討：佐藤壮紀

[地理調査部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2009 年大会 平成 21 年 5 月 16 日～21 日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
・Global Map Tells Us Changes of the World（地球地図が伝える世界の変容）：小島脩平
- ◇第 38 回国土地理院報告会 平成 21 年 6 月 3 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
・航空レーザ測量による精密地形情報の整備と活用：谷田部好徳
- ◇GSDI11 World Conference(第 11 回全地球空間データ基盤世界会議) 平成 21 年 6 月 15 日～19 日 World Trade Center Rotterdam(ロッテルダム世界貿易センター)（オランダ国ロッテルダム）
・Contribution of Global Mapping Project to Building SDI for Addressing Global Challenges（全球規模の課題に取り組む空間データ基盤の構築のための地球地図プロジェクトの貢献）：福島芳和
- ◇第 31 回測量調査技術発表会測技協ワークショップ 2009 平成 21 年 6 月 19 日 パシフィコ横浜アネックスホール（神奈川県横浜市）
・過去の地形状況把握のための手法検討：壇上拓也（国際航業）・小田三千夫（国際航業）・富田進太郎（国際航業）・星野実・吉武勝宏
- ◇アジアにおける温室効果ガスインベントリ整備に関するワークショップ第 7 回会合（WGIA7）平成 21 年 7 月 7 日～10 日 Mayfield Hotel(大韓民国ソウル市)
・Utilizing Global Map for Addressing Climate Change（地球地図の気候変動対策への利用）：岸本紀子
- ◇平成 21 年度日本国際地図学会定期大会 平成 21 年 8 月 19 日～20 日 立正大学大崎キャンパス（東京都品川区）
・地球地図を使った地球環境の様々な表現方法の考察：永山透・梶川昌三（地理空間情報部）・筒井俊洋（企画部）・杉原祐二・赤塚太（九州地方測量部）・鶴生川太郎（環境省）・小島脩平
- ・地球地図「人口密度・樹木被覆率・年間降水量の RGB 合成図」：永山透・梶川昌三（地理空間情報部）・筒井俊洋（企画部）・杉原祐二・赤塚太（九州地方測量部）・鶴生川太郎（環境省）・小島脩平
- ◇日本活断層学会 2009 年度秋季学術大会 平成 21 年 11 月 8 日 東洋大学白山キャンパス（東京都文京区）
・平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震 1：25,000 詳細活断層図（活断層・地形分類及び地形の変状）について：星野実・中田高（広島工業大学）・石山達也（東北大学）・今泉俊文（東北大学）・岡田篤正（立命館大学）・鈴木康弘（名古屋大学）・堤浩之（京都大学）・八木浩司（山形大学）・渡辺満久（東洋大学）・鈴木義宜・田中庸夫・岩橋純子（地理地殻活動研究センター）・高橋広典・吉武勝宏
- ◇ICC(International Cartography Conference)2009（国際地図学会議 2009） 平成 21 年 11 月 15 日～21

日 Liberator Bernado O' Higgins 陸軍学校 (チリ共和国サンティアゴ)

- ・Global Map -Achievements and Issues of the One to One Million Scale Global Geographic Datasets- (地球地図-縮尺 100 万分の 1 全球地理情報データセット概成と今後の課題-) : 小荒井衛・永山透・福島芳和・梶川昌三 (地理空間情報部)・木佐貫順一・筒井俊洋 (企画部)・大宮清一・赤塚太 (九州地方測量部)・鶴生川太郎 (環境省)・小島脩平・阿久津修
- ◇国連気候変動枠組条約第 15 回締約国会議 日本国政府サイドイベント「Japan's Efforts for International Cooperation on Climate Change」(気候変動に関する日本の国際協力) 平成 21 年 12 月 10 日 Bella Center(デンマーク王国コペンハーゲン市)
- ・Utilization of Global Map for Addressing Climate Change (気候変動対策のための地球地図の利活用) : 中村孝之
- ◇第 4 回全球地球観測システム(GEOSS)アジア太平洋シンポジウム 平成 22 年 3 月 10 日~12 日 Sanur Paradise Plaza Hotel and Suites (インドネシア共和国バリ州)
- ・Utilization of Global Map for GEOSS Societal Benefit Areas (GEOSS 社会的利益分野における地球地図の利活用) : 小島脩平
- ◇2010 年日本地理学会春季学術大会 平成 22 年 3 月 27 日~28 日 法政大学 (東京都千代田区)
- ・新潟県における筋状地形の分布と地形的特徴 : 関口辰夫・西村浩一 (名古屋大学)・秋山一弥 (企画部)

[地理空間情報部]

- ◇第 38 回国土地理院報告会 平成 21 年 6 月 3 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・測量成果のワンストップサービスについて : 鎌田高造
- ◇日本国際地図学会平成 21 年度定期大会 平成 21 年 8 月 19 日~20 日 立正大学 (東京都品川区)
- ・基盤地図情報のランドデザインについて : 鎌田高造
- ◇地理情報システム学会第 18 回研究発表大会 平成 21 年 10 月 15~16 日 新潟朱鷺メッセ (新潟県新潟市)
- ・地理空間情報の平面位置正確度の評価 : 村上真幸・鎌田高造・田中大和・出口智恵

[測地観測センター]

- ◇日本地球惑星科学連合 2009 年大会 平成 21 年 5 月 16 日~21 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- ・地震学のアウトリーチにおける社会のニーズとノイズ : 辻宏道・大木聖子 (東大地震研)・勝俣啓 (東大地震研)
- ◇第 38 回国土地理院報告会 平成 21 年 6 月 3 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・国土を支える位置情報の基盤-電子基準点の現在と未来- : 辻宏道
- ◇地理空間情報フォーラム 2009 シンポジウム「産官学連携によるひろがる衛星測位」 平成 21 年 6 月 17 日 パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
- ・電子基準点開設 15 年を迎えて : 辻宏道
- ◇日本測地学会第 112 回講演会 平成 21 年 11 月 4 日~6 日 産業技術総合研究所つくばセンター (茨城県つくば市)
- ・験潮場の GPS 連続観測データを用いた海面変動解析 : 川元智司・三和功喜
- ・次世代 GEONET についての技術的検討 : 辻宏道・宮川康平・矢来博司・新田浩・飯塚豊久・山口和典・河

和宏・川元智司・豊福隆史・斎藤隆

◇The First Asia Oceania Regional Workshop on GNSS (第1回GNSSアジアオセアニア地域ワークショップ) 平成22年1月25日～26日 タイ国バンコク

・GPS Earth Observation Network System (GEONET) GPS 連測観測システムについて：川元智司

[地理地殻活動研究センター]

◇SSA-2009 Annual Meeting (アメリカ地震学会2009年総会) 平成21年4月8日～10日 米国カリフォルニア州モントレレー市

・Terrain-based Classification of Vs30 for California (カリフォルニア州の地形分類にもとづくVs30マップ)：Alan Yong(usgs)・岩橋純子・Susan E. Hough(usgs)

◇European Geosciences General Assembly 2009 (ヨーロッパ地球科学連合2009年総会) 平成21年4月19日～24日 オーストリアセンターウィーン (オーストリア国ウィーン)

・Impact of Mapping Functions and a Priori Hydrostatic Delays on GPS-derived Vertical Coordinates and Wet Zenith Delays over Japan (日本におけるGPSの上下変動および湿潤天頂遅延量推定量に対するマッピング関数・静水圧遅延量の影響の評価)：宗包浩志・Johannes Boehm(ウィーン工科大学)

◇JBON (GEOBON日本委員会) 第1回ワークショップ 平成21年5月8日～10日 東京大学駒場キャンパス(東京都目黒区)

・環境変遷の把握に活用可能な国土地理院が所有する地理空間情報：小荒井衛

◇日本地球惑星科学関連学会2009大会 平成21年5月16日～21日 幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市)

・GEONET データを用いたリアルタイム地震時地殻変動観測システムの開発にむけて：西村卓也・飛田幹男・今給黎哲郎

・表層崩壊のアセスメントに適する勾配と凹凸度の計算範囲—出雲崎地域と新居浜地域の事例から—：岩橋純子・神谷泉

・GEONETで短期的SSEは見えるか？：今給黎哲郎

・「地盤脆弱性評価システム」の試作と検証：中埜貴元・小荒井衛・釜井俊孝(京大防災研)

・宅地ハザードマップへの活用を考慮した盛土マップの検討：中埜貴元・小荒井衛

・つくばにおける超深度固定型GPS観測点の開発：宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・高島和宏・石本正芳

・2008年茨城県沖の地震(M6.8)：小沢慎三郎

・戦時中の米軍撮影空中写真とDEMの重ね合わせによる東南海地震津波被害の検証：中埜貴元・宇根寛(国土交通大学)・小白井亮一(北海道地測)・鈴木康弘(名古屋大学)

・SAR干渉画像中の残存縞の軽減について：飛田幹男・島田政信(JAXA)・橋本学(京大防災研)・小澤拓(防災科研)・宮城洋介(JAXA/EORC)・矢来博司(測地観測センター)・雨貝知美(測地部)

・SAR干渉画像で検出された地表変動解釈のための判読カード作成：佐藤浩・中埜貴元・宇根寛(国土交通大学)

・地震加速度は1994年ノースリッジ地震による斜面崩壊の異方性に影響を及ぼしたのか？：佐藤浩

・GEONETの新たな解析戦略による大気遅延パラメータについて：畑中雄樹・石本正芳・宗包浩志

・測地基準系の高度決定に向けたVLBI-GPS統合解析手法の検討 その2：高島和宏

・知床半島羅臼岳での植生三次元構造に基づく航空レーザ植生図作成：小荒井衛・中埜貴元・廣瀬葉子(国際航業)

- ・テフラ GIS を使ったテフラハザードの評価：小荒井衛・鈴木毅彦（首都大学東京）・中山大地（首都大学東京）・和知剛（アイ・エス・ソリューション）・藤縄明彦（茨城大学）
- ・地形分類データとボーリングデータを組み合わせた GIS 解析による災害脆弱性の評価：小荒井衛
- ・水準測量における天文潮汐と海洋潮汐荷重の効果の試算：黒石裕樹
- ・LALT による月の地形図と余色立体図の作成：神谷泉・荒木博志(国立天文台)・祖父江真（JAXA）
- ・岩手宮城内陸地震における地表変位の写真計測—荒砥沢ダム北方の地表変位は地震断層か？—：神谷泉・小荒井衛・関口辰夫(地理調査部)・岩橋純子・中埜貴元
- ・数値気象モデルを用いた SAR 干渉画像における大気位相遅延の評価について：矢来博司・飛田幹男・石本正芳・宗包浩志
- ・数値気象モデルを用いた測位誤差シミュレーションについて：石本正芳・宗包浩志
- ・筑波研究学園都市を事例とした土地利用遷移分析 (Land use Analysis Considering Transition Probability:A Case Study of Tsukuba Science City)：水谷千亜紀（筑波大学）・小荒井衛・中埜貴元
- ・FEP 解析手法を応用した火山噴火シナリオの検討—伊豆大島への適用事例—：村上亮（北海道大学）・川村淳（原子力機構）・佐々木寿（国際航業）・牧野仁史（原子力機構）・瀬尾俊弘（原子力機構）・西村卓也・梅田浩司（原子力機構）・大井貴夫（原子力機構）・下司信夫（産総研）・及川輝樹（産総研）
- ・活断層周辺の地殻変動から見る内陸地震の応力蓄積過程と諸問題：鷺谷威（名古屋大学）・朝日友香（名古屋大学）・小澤和浩（名古屋大学）・伊藤武男（名古屋大学）・大園真子（東北大学）・橋本学（京都大学）・細善信（京都大学）・和田安男（京都大学）・平原和朗（京都大学）・竹内章（富山大学）・道家涼介（富山大学）・西村卓也
- ◇UJNR 耐風・耐震構造専門部会第 41 回合同部会 平成 21 年 5 月 18 日～20 日 国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市）
 - ・1994 年ノースリッジ地震で生じた斜面崩壊の異方性に関する研究：佐藤浩
- ◇第 38 回国土地理院報告会 平成 21 年 6 月 3 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・国土管理のための時系列地理情報の高度利活用：小荒井衛
- ◇第 5 回 GIS コミュニティフォーラム 平成 21 年 6 月 4 日～5 日 東京ミッドタウン（東京都港区）
 - ・「かぐや」が見た月の地形：神谷泉
- ◇日本写真測量学会平成 21 年度年次学術講演会 平成 21 年 6 月 18 日～19 日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
 - ・岩手・宮城内陸地震における地表変位の写真計測：神谷泉・小荒井衛・関口辰夫(地理調査部)・岩橋純子・中埜貴仁・佐藤浩
 - ・ネパール西部の斜面における PRISM 画像と Cartosat-1 画像の判読性の比較：佐藤浩・八木浩司（山形大学）
 - ・航空レーザ測量で把握可能なかんな流し関連の地形と植生：小荒井衛・中埜貴元・長澤良太（鳥取大学）・日置佳之（鳥取大学）・司馬愛美子（鳥取大学）・中山詩織（鳥取大学）
 - ・写真測量技術を使った大規模造成宅地の地盤脆弱性評価：小荒井衛・中埜貴元・星野実(地理調査部)・吉武勝宏(地理調査部)・太田英将（太田ジオリサーチ）
- ◇AOB セミナー 平成 21 年 6 月 22 日 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター（宮城県仙台市）
 - ・地殻変動データに基づく十勝沖地震・根室沖地震のすべり域とプレート間カップリング：西村卓也
- ◇The 8th International e-VLBI Workshop（第 8 回国際 eVLBI ワークショップ） 平成 21 年 6 月 22 日

～25日 スペイン国マドリード

- ・Fundamental Research about the Space-time Information Certification using VLBI Correlation Technique (VLBI 相関処理技術を利用した時空情報正当性検証に関する基礎研究) : 市川隆一 (情報通信研究機構)・高島和宏・高橋富士信 (横浜国立大学)・大坪俊通 (一橋大学)・小山泰弘 (情報通信研究機構)・関戸衛 (情報通信研究機構)・瀧口博士 (情報通信研究機構)・Thomas Hobiger (情報通信研究機構)
- ◇宇宙・航行エレクトロニクス研究会 平成21年6月25日～26日 JAXA 筑波宇宙センター (茨城県つくば市)
- ・だいち PALSAR による地震・火山性地殻変動観測とその意義 : 今給黎哲郎・和田弘人 (内閣府)・雨貝知美 (測地部)・藤原みどり (近畿地方測量部)・鈴木啓 (測地部)・飛田幹男・矢来博司 (測地観測センター)・藤原智 (企画部)
- ◇VII Hotine-Marussi Symposium (第7回ホタイン-マルーシ・シンポジウム) 平成21年7月6日～10日 イタリア国ローマ
- ・Flexible Datasets Combination and Modelling by Domain Decomposition Approaches (領域分割法による異種データの柔軟な結合とモデル化) : Isabelle Panet (IGN・IPGP)・黒石裕樹・Matthias Holschneider (Univ. Potsdam)
- ◇ESRI International User Conference (エスリー国際ユーザーカンファレンス) 平成21年7月13日～17日 サンディエゴコンベンションセンター (米国サンディエゴ)
- ・Lunar Topographic Map using KAGUYA Laser Altimeter (LALT) Data (かぐやの LALT データを用いた月の地形図の作成) : 神谷泉・Araki Hiroshi (国立天文台)・Sobue Shin-ichi (JAXA)
- ◇第12回自然科学研究所公開研究会 平成21年7月18日 専修大学生田キャンパス (神奈川県川崎市)
- ・地震とその予知 (南関東の確率的地震動予測地図を題材に) : 今給黎哲郎
- ◇平成21年度日本国際地図学会定期大会 平成21年8月19日～20日 立正大学 (東京都品川区)
- ・地理空間情報の時空間化についての検討 : 小荒井衛・中埜貴元
- ・防災地理情報を含む主題図の有効活用に関する検討 : 中埜貴元・小荒井衛・宇根寛 (国土交通大学)
- ・日本の地形図等に用いられた多面体図法の投影原理 : 政春尋志
- ・月の地形図等の作成 : 神谷泉・荒木博志 (国立天文台)・祖父江真一 (JAXA)
- ◇日本第四紀学会2009年大会 平成21年8月28日～30日 滋賀県立琵琶湖博物館 (滋賀県草津市)
- ・干渉 SAR で捉えた活褶曲の成長についての地形学的考察 : 小荒井衛・宇根寛 (国土交通大学)
- ◇IAG 2009 Scientific Assembly (国際測地学協会2009年科学会合) 平成21年8月31日～9月4日 アルゼンチン国ブエノスアイレス市
- ・Tsukuba Co-location Survey 2008 (2008年つくばコロケーション測量) : 高島和宏・栗原忍 (測地部)・重松宏実 (北陸地方測量部)・小谷京湖 (企画部)・吉田賢司 (測地観測センター)
- ・Regional Wavelet Modeling of the Gravity Field using Domain Decomposition Methods (領域分割法を用いた地域的な重力場のウェーブレット・モデル化) : Isabelle Panet (IGN・IPGP)・黒石裕樹・Matthias Holschneider (Univ. Potsdam)
- ◇日本地質学会2009岡山大会 平成21年9月4日～6日 岡山理科大学 (岡山県岡山市)
- ・航空レーザデータを活用した里山地域(「かんな流し」の行われた地域)の景観生態学的評価—ジオパーク的な視点から— : 小荒井衛・中埜貴元・長澤良太 (鳥取大学)・日置佳之 (鳥取大学)
- ◇日本惑星科学会2009年秋季講演会 平成21年9月28日～30日 東京大学本郷キャンパス (東京都文

京区)

- ・「かぐや」レーザ高度計(LALT)の月地形観測—観測実績と解析現状—：荒木博志(国立天文台)・田澤誠一(国立天文台)・野田寛大(国立天文台)・石原吉明(国立天文台)・Sander Goossens(国立天文台)・佐々木晶(国立天文台)・河野宣之(国立天文台)・神谷泉・大嶽久志(JAXA)・Juergen Oberst(ドイツ航空宇宙センター)・C. K. Shum(オハイオ州立大学)
- ◇日本地形学連合 2009 年秋季大会 平成 21 年 10 月 3 日～4 日 京都教育大学藤森キャンパス(京都府京都市)
 - ・国土地理院における高解像度 DEM の整備とそれを活用した地理情報解析研究：佐藤浩・岩橋純子・小荒井衛・小室勝也(地理調査部)・星野実(地理調査部)
 - ・豪雨と地震による崩壊の地形特性の比較 —LiDAR データの分析から—：岩橋純子・佐藤浩
- ◇日本火山学会 2009 年度秋季大会 平成 21 年 10 月 10 日～12 日 神奈川県立生命の星・地球博物館(神奈川県小田原市)
 - ・解像度の違う DEM による東北地方の火山地形解析：小荒井衛
- ◇日本地震学会 2009 年秋季大会 平成 21 年 10 月 21 日～23 日 京都大学吉田キャンパス(京都府京都市)
 - ・GEONET に基づく日本列島周辺のすべり欠損分布の推定：水藤尚
 - ・駿河湾の地震(2009 年 8 月 11 日, M6.5)に伴う地殻変動から推定した地震断層モデル：小沢慎三郎・飛田幹男・今給黎哲郎
 - ・2009 年 9 月 30 日スマトラ島パダン沖で発生した地震における SAR 干渉解析の試み：小林知勝・飛田幹男・今給黎哲郎・矢来博司(測地観測センター)・雨貝知美(測地部)・鈴木啓(測地部)・森下遊(測地部)
- ◇地理情報システム学会第 18 回研究発表大会 平成 21 年 10 月 15 日～16 日 新潟朱鷺メッセ(新潟県新潟市)
 - ・航空レーザ計測による羅臼岳の景観生態学的研究：小荒井衛・佐藤浩・中埜貴元
 - ・航空レーザ測量を利用したエゾシカ(*Cervus Nippon Yesoensis*)不嗜好生植物ハンゴンソウ(*Senecio Cannabifolus*)の分布拡大の把握—原生自然環境知床岬での事例—：西謙一(酪農学園大学)・吉田剛司(酪農学園大学)・山下亜紀郎(酪農学園大学)・横尾泰広(国際航業)・小荒井衛
- ◇日本地理学会 2009 年度秋季学術大会 平成 21 年 10 月 24 日～25 日 琉球大学(沖縄県中頭郡)
 - ・減災にむけた高度技術の応用：小荒井衛
 - ・戦時中の米軍撮影空中写真が明らかにした東南海地震津波被害と微地形の関係：宇根寛(国土交通大学校)・中埜貴元・小白井亮一(北海道地方測量部)・鈴木康弘(名古屋大学)
 - ・航空レーザ計測データを用いた中国山地における鉄穴流し跡地の地形解析：伊藤史彦(アジア航測)・畠周平(アジア航測)・小荒井衛・長澤良太(鳥取大学)・司馬愛美子(鳥取大学)
- ◇日本測地学会第 112 回講演会 平成 21 年 11 月 4 日～6 日 産業技術総合研究所つくばセンター(茨城県つくば市)
 - ・ジャワ島西部レンバン・バリビス断層周辺における GPS 連続観測(序報)：今給黎哲郎・町田守人(測地部)・加藤照之(東大地震研究所)・ハサヌディン・Z・アビディン(バンドン工科大学)
 - ・GEONET によって観測された富士・箱根火山周辺における最近の地殻変動：西村卓也・矢来博司(測地観測センター)・岩下知真子(測地部)・飛田幹男・今給黎哲郎
 - ・GEONET のルーチン解を基盤とする GPS 統合解析について：畑中雄樹
 - ・局所最適化マッピング関数の構築およびその評価：宗包浩志・Johannes Boehm(ウィーン工科大学)
 - ・水準測量における天文潮汐と海洋潮汐荷重の効果の試算—その 2—：黒石裕樹

- ・雌阿寒岳の2008年噴火前後の地殻変動(続報):村上亮(北海道大学)・小林知勝
- ・VLBI 相関処理技術を利用した時空情報正当性検証に関する基礎研究:高島和宏・市川隆一(情報通信研究機構)・高橋富士信(横浜国立大学)・大坪俊通(一橋大学)・小山泰弘(情報通信研究機構)・関戸衛(情報通信研究機構)・瀧口博士(情報通信研究機構)・Thomas Hobiger(情報通信研究機構)
- ・地震時地殻変動に伴う座標値の変化を補正するソフトウェア“PatchJGD”:飛田幹男
- ◇「平成19年(2007年)新潟県中越沖地震2周年シンポジウム」平成21年11月7日 東洋大学(東京都文京区)
 - ・地殻変動から見た地震像:西村卓也
- ◇日本活断層学会2009年秋季学術大会 平成21年11月8日 東洋大学白山キャンパス(東京都文京区)
 - ・平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震前後の航空レーザ測量データを用いた地形変動の把握:山本岳史(朝日航洋)・岩橋純子・中田高(広島工業大学)・石山達也(東北大学)・今泉俊文(東北大学)・岡田篤正(立命館大学)・鈴木康弘(名古屋大学)・堤浩之(京都大学)・八木浩司(山形大学)・渡辺満久(東洋大学)・木村了三(朝日航洋)・福田真(朝日航洋)・鎌倉友隆(朝日航洋)・中内隆幸(朝日航洋)
- ◇CSIS DAYS 2009 全国共同利用研究発表大会 平成21年11月12日~13日 東京大学柏キャンパス(千葉県柏市)
 - ・地理空間情報の時空間化に関する検討:中埜貴元・小荒井衛
 - ・航空レーザデータによる中国山地の景観生態学的研究:小荒井衛・中埜貴元・司馬愛美子(鳥取大学)・長澤良太(鳥取大学)・中山詩織(鳥取大学)・日置佳之(鳥取大学)
 - ・GDEMを用いたネパール西部の斜面崩壊の地形的特徴の把握:佐藤浩・八木浩司(山形大学)
- ◇第24回国際地図学会議 平成21年11月15日~21日 チリ共和国サンチアゴ市
 - ・Landscape-Ecological Map using Three Dimensional Vegetation Structure and Micro Landform Classification Detected by LIDAR Survey (航空レーザ測量データで捉えた植生三次元構造と微地形分類を使った景観生態学図):小荒井衛・中埜貴元・岩橋純子・佐藤浩
 - ・Three Dimensional Vegetation Structure Map Using LIDAR Survey Data. (航空レーザ測量データで作成した3次元植生構造図):小荒井衛・中埜貴元・岩橋純子・佐藤浩
- ◇(社)日本リモートセンシング学会第47回(平成21年度秋季)学術講演会 平成21年11月26日~27日 名古屋大学東山キャンパス(愛知県名古屋市)
 - ・世界自然遺産地域や里山地域での生物多様性評価のための航空レーザ計測の活用-微地形と植生三次元構造との関連性の解析から-:小荒井衛・佐藤浩・中埜貴元・吉田剛司(酪農学園大学)・山下亜紀郎(酪農学園大学)・西謙一(酪農学園大学)・長澤良太(鳥取大学)・日置佳之(鳥取大学)・司馬愛美子(鳥取大学)・中山詩織(鳥取大学)
- ◇KAP 2009 ワークショップ 平成21年11月28日~29日 JAMSTEC 東京事務所(東京都港区)
 - ・相模トラフ沿いのプレート間カップリングとスロースリップに関するレビュー:西村卓也
- ◇VLBI 懇談会 平成21年12月3日~5日 奥州宇宙遊学館(岩手県奥州市)
 - ・国際VLBI事業(IVS)活動状況報告:高島和宏
 - ・VLBI 相関処理技術を利用した時空情報正当性検証に関する基礎研究:高島和宏・市川隆一(情報通信研究機構)・高橋富士信(横浜国立大学)・大坪俊通(一橋大学)・小山泰弘(情報通信研究機構)・関戸衛(情報通信研究機構)・瀧口博士(情報通信研究機構)・Thomas Hobiger(情報通信研究機構)
- ◇2009 アメリカ地球物理学連合(AGU) 秋季大会 平成21年12月15日~18日 Moscone Center(米国・

サンフランシスコ)

- Locations and Types of Ruptures Involved in the 2008 Wenchuan Earthquake Revealed by SAR Image Matching (画像マッチング手法により推定された2008年中国・汶川地震に伴う破壊の位置と様式) : 小林知勝・高田陽一郎 (JAMSTEC)・古屋正人・村上亮 (北海道大)
- ◇Hokudan 2010 International Symposium on Active Faulting (北淡国際活断層シンポジウム2010) 平成22年1月18日~20日 北淡震災記念公園・野島断層保存館 (兵庫県淡路市)
- Episodic Growth of Fault-related Fault in the Niigata-Kobe Tectonic Zone, Central Japan Observed by SAR Interferometry (SAR 干渉解析によって見つかった中部日本の新潟神戸ひずみ集中帯での断層関連褶曲の成長) : 西村卓也・飛田幹男・矢来博司 (測地観測センター)・雨貝知美 (測地部)・藤原みどり (近畿地方測量部)・小荒井衛・宇根寛 (国土交通大学校)
 - Earth Surface Deformation Triggered by the Noto Hanto and Chuetsu-oki Earthquakes in 2007 Detected by ALOS/PALSAR Innterferometry. (ALOS/PALSAR 干渉画像で検出された2007年能登半島地震と中越沖地震による地殻変動) : 宇根寛 (国土交通大学校)・佐藤浩
- ◇第1回 GIS Landslide 研究集会 平成22年2月25日 防災科学技術研究所 (茨城県つくば市)
- 高密度地形データを用いた斜面崩壊のGIS解析 : 岩橋純子
 - ネパール西部の斜面崩壊の地形的特徴 : 佐藤浩
- ◇「地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」成果報告シンポジウム 平成22年3月3日~5日 東京大学地震研究所 (東京都文京区)
- プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の把握 : 水藤尚
 - GPS 連続観測 (GEONET) : 飛田幹男
 - GPS 解析技術の高度化 : 畑中雄樹
 - ひずみ集中帯の地殻変動特性 : 西村卓也
 - 火山地殻変動モデリング : 小沢慎三郎
 - SAR 解析技術の高度化 : 小林知勝
 - GPS・潮位データベース整備・更新, 地殻活動総合解析システム : 大脇温子・西村卓也
- ◇地殻変動研究集会 平成22年3月10日 東京大学地震研究所 (東京都文京区)
- スロースリップ発生前, 進行期, 終息後の東海地方の地殻変動とすべり欠損分布 : 水藤尚
 - 国土地理院におけるひずみ集中帯地殻変動観測計画について : 西村卓也
- ◇ALOS-2/3 ワークショップ 平成22年3月25日~26日 秋葉原コンベンションセンター (東京都千代田区)
- 災害状況把握に必要な光学センサの要件について : 小荒井衛
 - PRISM 画像から判読したハイチ地震の斜面崩壊について : 佐藤浩・八木浩司 (山形大学)
 - 地震・火山観測に有効な SAR 観測 : 飛田幹男・小林知勝・雨貝知美 (測地部)・鈴木啓 (測地部)・森下遊 (測地部)
 - ALOS/PALSAR を用いた地殻変動観測 -ALOS-2 への期待- : 小林知勝・飛田幹男・雨貝知美 (測地部)・鈴木啓 (測地部)・森下遊 (測地部)
- ◇日本地理学会 2010 年度春季学術大会 平成22年3月27日~29日 法政大学 (東京都千代田区)
- シンポジウム「景観生態学図による生物多様性評価の可能性」の趣旨説明 : 小荒井衛・山下亜紀郎 (酪農学園大学)・長澤良太 (鳥取大学)
 - 航空レーザを用いた三次元植生区分の試み : 小荒井衛・中埜貴元・佐藤浩・岩橋純子・廣瀬葉子 (国際

- 航業)・今井靖晃 (国際航業)・森田太一 (国際航業)
- ・知床岬における生物多様性評価のための景観生態学図の試作：吉田剛司 (酪農学園大学)・西謙一 (酪農学園大学)・山下重紀郎 (酪農学園大学)・小荒井衛
- ・地理空間情報を時空間化することの意味：小荒井衛・中埜貴元
- ・迅速測図原図を使った三浦半島の植生変遷の把握：小荒井衛
- ・航空レーザ測量データを用いた白神山地における地生態学図の作成：佐藤浩
- ・七五三掛地区の SAR 干渉画像を用いた地すべり地表変動の解析：佐藤浩・鈴木啓(測地部)・関口辰夫(地理調査部)・雨貝知美(測地部)・小荒井衛
- ・ネパール中・中西部 MBF, MFF 沿いの地すべり地形分布図：八木浩司(山形大学)・佐藤浩・熊原康博(群馬大学)

[北海道地方測量部]

- ◇講演会「わたしたちと火山ー雌阿寒岳・雄阿寒岳ー」 平成 21 年 10 月 24 日 釧路市立博物館 (北海道釧路市)
 - ・地図・測量と防災ー国土地理院の取り組みー：小白井亮一
- ◇産学官セミナー「地理空間情報が拓く未来」 平成 21 年 11 月 12 日 北海道大学 (北海道札幌市)
 - ・最新の測量技術と防災：小白井亮一
- ◇先端技術セミナー 平成 22 年 2 月 5 日 旭川市大雪クリスタルホール (北海道旭川市)
 - ・地理空間情報の高度活用を目指して：田中幸生
- ◇「地理空間情報と北海道の地図・地籍～いま・土地家屋調査士ができること～」 平成 22 年 3 月 12 日 札幌後楽園ホテル (北海道札幌市)
 - ・国土地理院における基盤地図情報の整備：茂木公一